

## 提 言

### 1. 多可町のお宝である山の活用を！そして里山に行こう！！

多可町の面積のうち森林面積は80%を超えています。そのうち桧や杉の人工林が61%を占めており、人工林の本格的な利用が可能な時期を迎えています。

また森林は、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の吸収源であり地球温暖化の防止や災害の防止に役立っています。しかしながら、木材利用は、現在木材資源量の0.5%しか進んでおらず、200年分の蓄積があるといわれています。まさに、お宝が眠っています。

このお宝を有効に活用する必要があります。

今後、山林と里山と集落（田園）の境界を明確化して、シカなどの野生動物と人間の共生を図る必要があります。そのためには、里山の整備が不可欠です。住宅裏山や道路周辺の人工林の大径化の伴う倒木の危険性もあります。このままでは、森林の少子高齢化が進んでいます。

そこで、今回、山については、2つの提言をします。

①多可町民の方が、森林や里山に気軽に入れて、親しみを持てるしかけづくりです。

関心を持っていただけて、行動ができるプロジェクトとして、(仮称)「多可町の森林と里山を考え行動する会」を設置したらどうでしょうか。そのためにも年間スケジュールをしっかりと立てる必要があります。例えば、山登り、ハイキング、野草摘み、森林浴散策、里山づくり作業、健康増進のためのヘルスツーリズムなど山に関するあらゆる方策を考え、そして、行動実践する会を町民各層の方々に構成してはどうでしょうか。提言します。

②多可町には、間伐が必要で手入れが遅れている森林があり、森林機能の低下と災害の危険性があります。また、木造による住宅建設は、なかなか進んでいません。バイオマス発電所の本格的な稼働により、発電所用の原木の供給が始まろうとしています。今からの取り組み課題と考えます。また、北はりま森林組合において稼働しているチップ工場では、町の公共施設のチップボイラー用にチップを供給しています。そのチップを薪ストーブ用に「たきつけ君」としても販売されています。そこで、私たちの出来る小さな一歩ですが、「薪ストーブ」を各家庭に設置することを勧めてみてはどうでしょうか。そのためにも助成制度も有効と考えます。また、多可町の公共施設等に薪ストーブを設置してはどうでしょうか。これから役場新本庁舎の建設が始まりますが、一階ロビーに「薪ストーブ」を設置いただくよう是非、お願いします。以上提言します。

**最後に、この貴重な資源である森林を守り、活用することを望みます。**

## 2. 多可町自身の断捨離を実行してみては！

ふるさと創造大学では、昨年11月に「断捨離で片付け上手」と題して、関西初の、断捨離の提唱者やましたひでこ公認断捨離トレーナー丸山ゆりさんをお招きして、講演会を開催しました。正月が近づいていることもあり、また誰もが日頃から非常に関心を持たれている内容でもあったので、予期していたよりもたくさんの方に参加していただきました。

整理整頓は日常生活でも大変大事なことでありますが、いざとなるとなかなか手をつけることが難しいです。しかし、断捨離とは物を目につかない所に隠すことではなく、今すぐ使う物か、これから先絶対に使うことがない物かに分けて、使うことがない物は処分することです。「いつか」とか「また」使うだろうと思っている物は大抵使う事がないという事が多々あります。それにより物が家の中に溢れていくのです。

多可町にも多くの施設がありますが、今一度見直しをして、今後使うことのない施設は取り壊し、再利用出来る建物は有意義な活用方法を、地域住民の意見を尊重しながら検討されることを提言します。

**多可町の断捨離は、多可町の歩む方向を示すことにもなります。**

## 3. 出会いを通じて！！

ふるさと創造大学では、若者との交流（これまでに多可町内の高校生、新成人、大学生、多可町で働く外国の若者達）を行ってきました。

多くの方との出会いが有り交流の場はいつも新鮮で楽しく、新しい発見や体験が出来たと参加者に喜んで貰えました。

高齢化率の高い多可町では、高齢者の独り暮らしや二人きりの老老介護等で家から外へ出る機会が少なくなり、人との繋がりや会話が無くなってきています。人は一人では生きていけない、家族や近所、村や町で人との繋がりや支えがあってこそ楽しく元気にいきていけるものです。

高齢者の健康増進、認知症予防、社会から孤立することなく、出会いの場、会話の出来る高齢者同士、また若者との交流の場等の輪を広げていける様、ふるさと創造大学でも、それらのきっかけ作りをして行きたいと思っています。

町においても、社会活動に積極的に参加し、その結果健康寿命を延ばす高齢者の多い町として多可町をPR出来る様に、活性化を図るきっかけ作りに更に取り組んで頂く事を要望します。